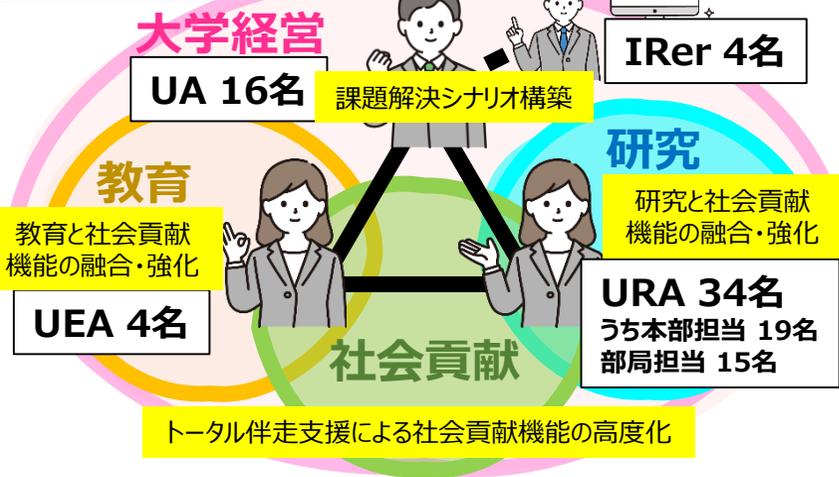


大学名 国立大学法人信州大学

表題 高度専門職人材UA、URA、UEA、IRerの伴走支援による大学改革の組織的実行

整備体制と機能



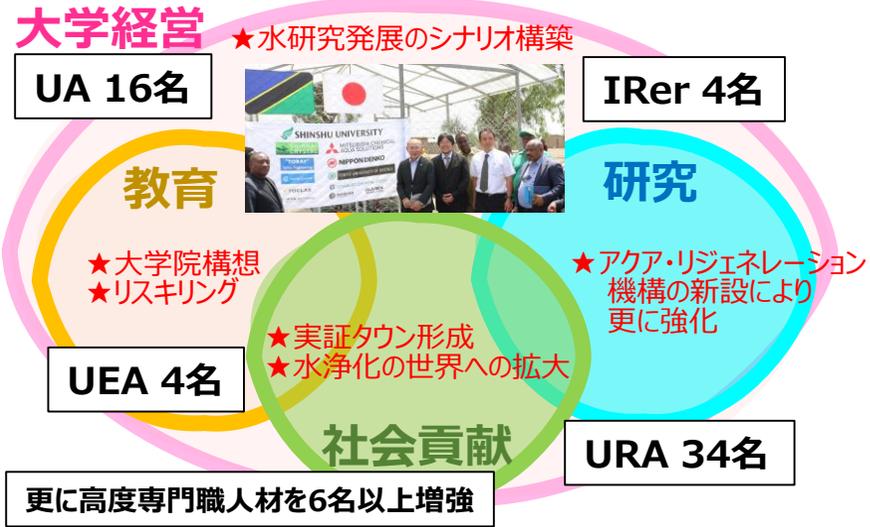
経緯 地方創生や大学改革の課題解決には、教育・研究・社会貢献を組織横断的に融合する取組みが必須だが、従来の縦割り組織では困難だった。そこで、学長直轄のアドミンストレーション本部（AHSU）を設置し、課題と情報を集約して抜本的解決シナリオを構築できる、多職種専門職による支援を開始した。

整備体制と機能 抜本的な課題解決には学長のリーダーシップとAHSUを核とした大学機能の組織横断的の実施が不可欠である。URAなどの多職種の高度専門職人材を配置し、連携したトータル伴走支援により、大学経営戦略に基づく課題解決を進めている。

| | | | |
|---|---|-----------------------------|------------------|
| ① | UA: University Administrator | 課題解決シナリオ構築・伴走人材 | AHSU所属 |
| ② | URA: University Research Administrator | 研究リソース強化人材（研究と社会貢献機能の融合・強化） | 学術研究・産学官連携推進機構所属 |
| ③ | UEA: University Education Administrator | 教育リソース強化人材（教育と社会貢献機能の融合・強化） | 教育・学生支援機構所属 |
| ④ | IRer: Institutional Researcher | 分析専門人材 | AHSU所属 |

水研究の強みを活かした実例

J-PEAKSを活用した大学のランクアップ戦略の構築と実践



実例1: J-PEAKSを活用した大学のランクアップ戦略の構築と実践

左下図の各高度専門職人材が連携したトータル伴走支援による機能強化策の結果、令和5年度文部科学省：地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）に採択された。

実例2: 地方型スタートアップ創出・成長加速エコシステムの共創

課題解決シナリオに基づき、令和5年度JSTスタートアップ・エコシステム共創プログラムの支援を受けて、本学をはじめ6大学、多数の金融機関、ベンチャーキャピタル、自治体等が参画するIJIE：Inland Japan Innovation Ecosystemを形成し、活動を開始して、スタートアップ支援を強化した。

信州大学 アドミンストレーション本部 <https://www.shinshu-u.ac.jp/ahsu/>
アクア・リジェネレーション機構 <https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/arg/>
IJIE <https://ijie.jp>